



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5224-4900

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	545	0.5	20		32		33	
29年3月期第1四半期	542	25.9	41		50		53	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 34百万円 (%) 29年3月期第1四半期 83百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.25	
29年3月期第1四半期	1.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	6,842	3,049	44.6	112.51
29年3月期	6,398	3,137	49.0	115.77

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,049百万円 29年3月期 3,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	985	23.0	50	826.8	17		7		0.26
通期	2,215	13.3	150	743.1	77		47	68.3	1.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	27,117,556 株	29年3月期	27,115,556 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	13,815 株	29年3月期	13,815 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	27,103,741 株	29年3月期1Q	26,701,558 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当第1四半期」)の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、アメリカの金融政策正常化や今後の政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどの海外経済要因や、金融市場の変動による影響に留意する必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第1四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのさまざまな取り組みを積極的に進め、収益力の向上とさらなる安定化をはかってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の当社グループの業績は、売上高545百万円(前年同期比0.5%増)と増収となり、新規不動産取得にかかる費用15百万円や「加古川プラザホテル」でのエアウィーブ等導入費用11百万円を計上し、営業損失20百万円(前年同期は営業損失41百万円)、経常損失32百万円(前年同期は経常損失50百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失53百万円)となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第1四半期は、前事業年度に取得した収益マンション4件の家賃収入が貢献し、売上高90百万円と、前年同期に對し14.1%増となりました。一方、当第1四半期に取得した大阪市中央区の物件は、第2四半期以降の収益に貢献するものでありますが、当第1四半期におきましては、取得にかかる費用15百万円を計上し、セグメント利益12百万円と、前年同期に對し23.6%減少しました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第1四半期は、当第1四半期末をもって営業終了となった「ホテルJALシティ松山」を含め、総じて堅調な運営を行った結果、売上高454百万円(前年同期比1.4%増)となり、「加古川プラザホテル」において、エアウィーブ等、顧客サービス向上のための設備の導入費用11百万円を計上した上で、セグメント利益8百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は6,842百万円で、前連結会計年度末に比べ444百万円増加しております。現金及び預金の減少342百万円、受取手形及び売掛金の減少8百万円、有形固定資産の増加753百万円、その他流動資産の増加47百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は3,793百万円で、前連結会計年度末に比べ532百万円増加しております。長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加536百万円、未払費用の減少12百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は3,049百万円で、前連結会計年度末に比べ88百万円減少しております。配当金支払による利益剰余金の減少54百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失が33百万円が主な変動要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日付当社「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243,864	901,177
受取手形及び売掛金	111,618	103,538
営業投資有価証券	314,763	314,230
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,581	1,525
原材料及び貯蔵品	12,303	9,991
その他	88,266	136,241
流動資産合計	1,822,397	1,516,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,225,883	2,676,004
土地	1,825,302	2,130,476
その他(純額)	61,792	59,504
減損損失累計額	△113,031	△113,031
有形固定資産合計	3,999,946	4,752,953
無形固定資産		
のれん	215,951	209,986
その他	2,474	2,474
無形固定資産合計	218,426	212,460
投資その他の資産		
投資有価証券	239,830	242,830
敷金及び保証金	95,171	95,206
その他	24,719	24,386
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	357,801	360,503
固定資産合計	4,576,174	5,325,918
資産合計	6,398,571	6,842,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,690	62,711
1年内返済予定の長期借入金	1,149,300	1,156,172
未払費用	102,647	90,394
賞与引当金	—	4,920
役員賞与引当金	—	360
その他	88,953	78,623
流動負債合計	1,402,591	1,393,182
固定負債		
長期借入金	1,737,409	2,266,712
長期預り敷金保証金	68,532	73,201
その他	52,141	60,214
固定負債合計	1,858,083	2,400,127
負債合計	3,260,674	3,793,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,701,272	2,701,272
資本剰余金	389,618	389,618
利益剰余金	63,953	△24,097
自己株式	△2,786	△2,786
株主資本合計	3,152,057	3,064,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,160	△14,693
その他の包括利益累計額合計	△14,160	△14,693
純資産合計	3,137,897	3,049,313
負債純資産合計	6,398,571	6,842,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	542,397	545,286
売上原価	198,831	194,393
売上総利益	343,566	350,893
販売費及び一般管理費	384,643	371,225
営業損失(△)	△41,076	△20,332
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	0	—
貸倒引当金戻入額	100	—
未払配当金除斥益	232	144
その他	380	354
営業外収益合計	713	499
営業外費用		
支払利息	6,418	8,790
支払手数料	3,336	3,499
その他	244	1
営業外費用合計	9,999	12,291
経常損失(△)	△50,362	△32,123
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,362	△32,123
法人税、住民税及び事業税	4,034	1,337
法人税等調整額	△1,283	381
法人税等合計	2,750	1,719
四半期純損失(△)	△53,113	△33,843
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,113	△33,843

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△53,113	△33,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,555	△533
その他の包括利益合計	△30,555	△533
四半期包括利益	△83,668	△34,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,668	△34,376

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業	マニファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	79,226	448,805	14,365	542,397	—	542,397
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	79,226	448,805	14,365	542,397	—	542,397
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	16,813	6,910	△21,035	2,687	△43,764	△41,076

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△43,764千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	90,420	454,866	545,286	—	545,286
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	90,420	454,866	545,286	—	545,286
セグメント利益	12,849	8,727	21,576	△41,909	△20,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,909千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。